

# 学校だより

2月号

<http://www.ed2.city.yamato.kanagawa.jp/s-chu/>

## 平和への思い

教頭 中山 佳予子



宮島にある厳島神社の大鳥居が3年半にわたる令和の大改修を終え、鮮やかな色に生まれ変わったというので、この年末、久しぶりに広島に出かけてきました。瀬戸内海の穏やかな海から、宮島の美しい自然の中に、浮かび上がるように社殿が見えた時はとても神秘的な気持ちがしました。

そして、広島と言えばもう一つ、忘れてはならないのが原爆被爆地であるということです。市内にある平和記念公園には原爆ドーム、広島平和記念資料館、慰霊碑などがあり、爆心地へも案内してもらい、原爆投下当時の広島の話を知ることができました。過去を知り、これからは生かすことがどれほど大切なことを考えた年の瀬となりました。

5月には、主要7カ国首脳会議(G7サミット)の広島開催が決定しています。世界の平和と持続的な発展に向けた対話の場所として「国際平和文化都市」である広島の地が選ばれたと聞いています。唯一の核被爆国として日本が世界にどんなメッセージを伝えられるか、果たすべき役割は大きいはずで



学校では、年明けに語り部さんに来校いただき、6年生が沖縄戦の話を知ることができました。初めて知る事が多く、たくさんの方が自ら命を絶ったという事実にとっても驚いている様子でした。子どもたちの感想の中には「戦争は絶対に嫌だ」「二度とこんなことがあってはいけな

い」という内容のものがたくさんありました。

現代の子どもたちが、戦時中に起きたことや戦時中の暮らしを学び、戦争の悲惨さや命の尊さを考えることはとても意味のあることです。その歴史や現実をしっかりと受け止めたうえで、平和への思いをもちながら成長できるよう、これからも学校教育において学習の機会を計画していきたいと思っています。

